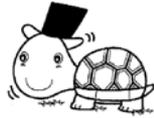




三輪さやか



きらめき亀山^{かめさん}21

きらめき亀山21企画会議
amani@helen.ocn.ne.jp

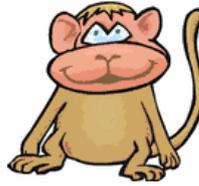
第53号

2005年8月21日発行

サル被害についての講習会開催

亀山のニホンザルの生態を知り、被害を少なくするための方策についての講習会が8月8日、「あいあい」にて開催されました。

近年、ニホンザルによる猿害が全国で顕在化しており問題となっています。亀山市も例外ではなく猿害が深刻であるため、これまで「亀山サルの会」が中心となって亀山のニホンザルの被害、すなわち猿害について調べてきました。その結果、ニホンザルの生態などへの誤解から、多くの方が無意識のうちにサルを餌付けしてサルを呼び寄せてしまっていることが分かってきました。そこで講習会では、



1. ニホンザルの生態について
2. 亀山市内におけるニホンザルの行動と被害の実態について
3. 今後猿害を防いでいくため方策

についてそれぞれの専門家が講演をしました。質疑応答では、被害を受けている市民、市役所、専門家、それぞれから猿害に対する意見が活発に出て熱い議論となりました。この講習会を開催するにあたり、市民・行政・専門家とお互いを理解できない状態から、「考え」や「想い」をお互いに共有できる段階になってきたと思います。この日は単なる講習会でなく、猿害を解決していくためのスタートともなりました。今後も「亀山サルの会」は猿害を住民の皆さんとともに解決していくため活動を続けます。

目次:

亀山サル講習会開催	1
市民交流の日	2
たまり坂納涼祭	3
これからの行事予定	4

スペイン語の

入門講座

日常の会話を中心におもしろく学びましょう。

スペイン語の歴史や文化もまなびましょう。

2005年9月7日(水)から11月23日まで12回 毎週水曜日
午後7時30分から
8時30分 総合保健福祉センター「あいあい」
KIFA
亀山国際交流の会より

猿被害に関する講演を聞いて

浅田正雄

全国的にそうであるように、亀山もまた猿による農作物の被害が増え、関係する人々は猿を親しみより憎しみで見ることが多くなってきた事は悲しい事です。

今回は猿害を少しでも減少させようと「亀山サルの会」代表 明石さん、市商工農林課からの専門家の話を聞きました。亀山の猿数は増えており根本的な対策を行政・市民の協力により行う必要性を感じました。

市民の意見から

1. 昔は猿を見かけなかった。どうかして猿を減少させてほしい。
2. 猿数は以前に比べて増えている。畑から猿が食べ物を得るようになった。それはおかしい。畑も水田も減少している状態、しかも管理法もそう代わっていない。そこで猿が増えているなら元に戻すべきだ。
3. 畑・田で生計のために一生懸命に耕している人、菜園にて生き甲斐で作物を作っている人、これらの人達は高齢者が多い。
4. 猿を待ち伏せして脅して森へ返す事がどんなに効果があるかもっと市民全体に知らすべきだ。行政は爆竹をわたすだけでなく、行政にはもっといろんな施策をしてほしい。
5. 猿情報をインターネットで知らせても関係者が見ていない場合が多い。地域放送でやれば市民協力が増える。
6. 猿が帰る森は間伐などが出来ていない為、食べ物が減少しているのも確かだ。
7. 企業が10万坪以上の森を無くしたことも原因している。企業も環境対策を考える時。周辺に実のなる猿ガードの植林作業を市民・行政と協働すべきだ。
8. 猿は智慧が低く脅して追い払うのが良いと言うが、女性や子どもには逃げようもしない。そして庭、家まで入ってくる。猿はそんな単純な動物ではない。
9. 三重県全体・国全体が猿被害問題を抱えている。単に一地域で追い払ったとしても、しばらくすると、他地域からやってくる。数が増えているなら、国全体で以前数まで間引くべきだ。

根本的な対策も急がねばとの参加者の思いがひしひしと感じられました。この様な意見交換は初めてでしたが有意義な会合で主催の「亀山サルの会」と後援の「市商工農林課」の方々に感謝します。今後もこの会合は続けてください。

2005年9月21日(水)

19:30~21:30

「市民交流の日」

「外国人とともに暮らす社会づくり」というテーマで県の国際室から講演にきていただきます。
ぜひ参加ください



市民交流の日 2005年7月21日の話し合い 出席者 33名

テーマ何が問題、外国人との共生

自治会関係者より

県下で外国人の割合が1番多い亀山市。いいこともあるし摩擦もあるのでは。まず意見を出してください。会社のアパート扱いで個人として自治会に入っていない方もいる。言葉の問題以前に社宅として扱うのか、個人として扱うか困惑している。大家さんが自治会に入っているだけで本人達が入っていない。

ゴミの分別の問題が連絡できない。他には問題はほとんど無い。夏祭りも一緒にしている。

ゴミの問題。配布しても日本語がわからない。出す日。分別。横文字の缶詰で中身が残っていた。挨拶はするが自治会の会合に出てくれない。外国人だけの付き合いになっている。

ゴミの話等市役所には話してきたが今日のような話し合う場は無かった。相談窓口があればいい。

外国語のゴミ出し説明パンフはある。大事なところは自治会との連携だと思う。

特に外国人だからだめだとは思っていない。いつ引越してきて、いつ入ったのかわからない。市を通じて情報が無い。個人情報だから明かせないうぬん言うが、孤独死になってもいけないから自治会との窓口作りが必要。転入時点で自治会に入るよう説明をすることが必要では。行政はどう考えているのか。無かったらつくりたいといけない。小学校と学校、会社の対応は地域よりは進んでいると思う。地域の場合、説明がされているのか、されてない場合、どこがやるのか。窓口つくりの要請を知事に要請する署名をしている。行政でつくりしかないのである。

大家さんは入居者の詳細を知らなかったが人材派遣業にたずねてわかった。つきつめれば把握はできた。会社は自治会長に通知することの義務付けが必要では。自治会が入れてくれないとの話もある。

接点はできるだけつくり自治会としては拒否していない。外国人がもっと自主的に近づいてほしい。

最初から外国人を歓迎したらずいぶん違うかも。できたら顔見知りになりたい。

教育関係者より

高校：定時制では全国でも外国籍が多い。「あいうえお」からはじめる実態。話し合いの場が大切。まずは出発点。アジアからの人が多くなってきた。南米系は比率として少なくなった。

ブラジル系の人の場合、会社に通訳がいるが、地域などにはいない。

学力はあっても漢字が読めない。力のある人にチャンスを与える必要がある。

リーダーを介しての話ができるといい。子どもを介して通訳をしていることもある。

ふりがな(ルビ)をふれば読めることもある。

市民として

違いを我慢する程度、どこまで折り合いをつけられるかが共生のキーでは。

中国等からの出稼ぎ者が日本の企業で働いているが、その労働条件の悪さを理解しないといけないんじゃないか。日本人とは労働環境、条件が違う。約15年前に亀山では多くのブラジル系日系人が来たが派遣を使わず会社が契約した。だから問題はあったが解決できた。昨今の派遣方式は雇う側のコスト削減が問題。

どこも責任を持っていない。こんな話し合いの場に企業は来てもらえないか。

積極的にかかわっていきこうという姿勢に共感した。今までこんな場が無かった。自治会との接点をどうシステム化するか。あせらず構築していければと思う。前向きな意見。生々しい意見を参考にしたい。

海外体験をもって視野を広げ活かしたい。





西町たまり坂納涼祭

お城見広場の誕生を機に始まった「西町たまり坂納涼祭」。7月31日は天候に恵まれ日暮れとともに周辺の皆さんが続々と集まってきました。たまり坂には灯籠が並べられ、子どもたち手づくりの変わり灯籠も勢揃い。坂の上のあずまや横ではまぼろしの亀山銘菓「川浸りもち」も限定販売。やがて日没とともに灯踊りも始まり、祭りの雰囲気も盛り上がってきました。



坂を活用したグッドアイデアな流しそうめんも始まりました。まずは子どもたちから・・・でも流れが急でなかなか掴めません。それでもみんな満足いくまで食べました。夕闇の中、電灯を消した街路の両側には灯籠がずらりと並び、昔をしのばせます。やがて始まったカラオケ大会は、なんと楽団付です。久しく見ることのなかった生演奏でした。豪華な飾りつけはなくても、とっても暖かい雰囲気のひとつでした。



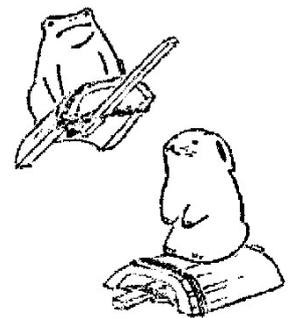
夏は妖怪

亀山のお化け（かめやまのおばけ）

心が変わり易くて、職業などを度々変えることの喩え。

参考：江戸時代、天明から文化頃、江戸浅草雷門内日音院の門前で売られた小さな玩具。数え唄に合わせて、底に仕掛けのある割竹の上に乗った人形の笠が飛び、猿が出たり、また意外な姿に変化したりするもの。

宿場の賑わい復活一座ミニ講座より



60年前のこと

終戦の直前1945年（昭和20年）8月2日のことでした。亀山駅を出発した鳥羽行きの列車がアメリカ軍の艦載機の攻撃を受け、多数の犠牲者を出しました。汽車の乗客は中村の民家に逃げ込み土間は血だらけになったそうです。犠牲者は40名くらいだと言われていますが正確な数はわかりません。死亡者の名前も判明しているのは2名だけだそうです。太岡寺のドライブイン安全に隣接する亀山美術館では8月28日まで「三重の戦争遺跡を知ろう」展示を主催しています。歳月のながれに埋もれて行く郷土の悲劇、主催者は情報を集めています。ぜひ来訪をお勧めします。



今後の行事予定

イベント名	日時	場所
平成子ども亀山検地	8月24日(水) 9:30～ 25日(木) 正午まで	鈴鹿峠自然の家 ほか
ぽっかぽかの会 お菓子作り教室	8月26日(金) 9:30～13:00	あいあい2階 栄養指導室
ぽっかぽかの会 定例会	8月26日(金) 19:30～	あいあい2階 研修室
ねこの館フリーマーケット	8月28日(日) 9:00～20:00	東町1丁目 ねこの館
「きらめき亀山21」企画会議	9月1日(木) 19:30～	市役所3階 理事者控室
ぽっかぽかの会 お母さん達のお話会	9月5日(月) 11:00～14:00	浜野宅
招き猫の会定例会	9月12日(月) 19:30～	東町1丁目 ねこの館
KIFA スペイン語講座	9月7日(水)～11月23日 (水)まで全12回 19:30～	あいあい2階 研修室(9月7日は 大会議室で開催)
自然を愛する会	9月7日(水) 19:00～	あいあい2階 研修室
消費生活講座 「くらしとお金(悪質商法)」	9月8日(水) 13:30～	あいあい2階 研修室
日本語の教え方講座	9月11日(日)、25日(日) 10:00～15:00	あいあい2階 研修室
KIFA国際交流の会 定例会	9月13日(火) 19:30～	市役所3階 理事者控室
ぽっかぽかの会 お菓子作り教室	9月15日(木) 9:30～14:00	あいあい2階 栄養指導室
ぽっかぽかの会 定例会	9月16日(金) 19:30～	あいあい2階 研修室
定例市民交流の日	9月21日(水) 19:30～21:30	市役所3階 大会議室
宿場の賑わい復活一座 定例会	9月22日(木) 19:30～	市役所1階 市民活動コーナー

市民のショップ 東町1丁目

ねこの館だより

オープンから早くも2ヶ月。
スタッフ一同少し落ち着いて
きました。でももっと出店者
も商品のアイデアも欲しい毎
日です。ここにしかない。そ
んなグッズを集めたいもの
です。毎月第4日
曜はフリマの日
です。ぜひお越
しく下さい。



閑古鳥を鳴かせな
いでニャン

8月28日(日)ねこの館 フリーマーケット

ねこの館ブログ

[http://blog.goo.ne.jp/
nekonoyakata/](http://blog.goo.ne.jp/nekonoyakata/)

店内ライブカメラ

とらちゃんのみ

[http://www.geocities.jp/
tamonyagura2005/
nekonoyakata/livecamera.html](http://www.geocities.jp/tamonyagura2005/nekonoyakata/livecamera.html)

9月21日(水) 「外国人とともに暮らす 社会づくり」

三重県生活部国際室より

「多文化共生」の
出前トーク！！
ぜひご参集ください。

編集作成：「きらめき亀山21」企画会議

この月刊新聞は毎月21日の交流会に配布され市役所市民活動コーナーや各公共施設でも入手できます。

EMAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>

市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/> マッホー亀山 <http://www.za.ztv.ne.jp/qtuh7aip/shimin/>

「きらめき亀山21」メーリングリスト 100名以上の参加者です。携帯でもOK

加入は「きらめき亀山21」HPより。または「きらめき亀山21」広報伊藤までご連絡ください。